

科目名 (英)	レストランマネジメント/ITマネジメント	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	吉村 丞史
	Restaurant Management	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホテルマネジメントコース					曜日・時限	火曜日3時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  
 レストラン運営マネジメントの基礎や活用法を理解して、マネージャー(管理責任者)としての意識や思考をインプットして高める場にします。  
 人(人材育成・チームビルディング) 事(価値創造・価値浸透) 金(物)(損益の理解・錬金法・資産管理)

※実務経験:株 にしけい(空港保安検査業務)1年/株 ポジティブドリームパーソンズ(料飲部門) 4年/株 オペレーションファクトリー(飲食)3.5年/株 グローバルエージェンツ(料飲/ホテル) 5年 基本的に発展途上で創造の幅が広い、中小ベンチャーへ就職しています。人に特化した思考でのブランディング・マーケティングを主軸に、人材育成や売上獲得を行い、ホテルや飲食の新規開発等も携わり、経営・運営・現場と幅広く活動しております。

【到達目標】  
 ホテルレストランの運営を理解して、マネージャーとしてのワークビジョンが語れる(言語化・可視化できる)

1回目	オリエンテーション(自己紹介・業界概要・進め方)を行い授業内容を通じて半年後に何が習得できるかイメージすることができる
2回目	ホテルレストランの組織構造と役割について学ぶことができる
3回目	レストランマネージャーの役割と業務(オペレーション・マネジメント・管理業務)について学ぶことができる
4回目	ホテルブランド戦略とMVV(ミッション・ビジョン・バリュー)を知ることができる
5回目	マーケティング1(ターゲティング・販促戦略・集客)について学ぶことができる
6回目	マーケティング2(デジタルマーケティング・SNS活用・ロコミ戦略)について学ぶことができる
7回目	売上管理(売上構造の理解・客単価・KPI)について学ぶことができる
8回目	利益管理(利益構造の理解・コストコントロール・利益の最大化)について学ぶことができる
9回目	顧客満足とリピーター戦略(体験価値向上・ファンづくり)について学ぶことができる
10回目	人材育成・チームビルディング(スタッフ教育・リーダーシップ)について学ぶことができる
11回目	企画開発・商品開発(コンセプト・メニュー開発・イベント企画)について学ぶことができる
12回目	ケーススタディ(成功しているレストランの事例分析)を通じて学ぶことができる
13回目	ケーススタディ(問題がある店舗の課題解決)を通じて学ぶことができる
14回目	実践ワークショップ(ホテルレストランの企画プレゼン準備)を行い習熟度を理解できる
15回目	最終プレゼンを通じて授業で学んだことを表現できる

準備学習  
時間外学習

評価方法  
 授業態度 30%  
 最終プレゼン 70%

受講生への  
メッセージ  
 ホテルにとって、飲食機能とはとても強いコンテンツです。特に近年はハードでの差別化が難しい世の中であり、だからこそ、他には無い体験を提供する必要があります。その為には、知見や経験を増やし、脳内のアイデアやイメージの幅を広げより、深層まで潜る事で他には無い新しい創造が生まれると私は考えます。共にワクワクしながら学び成長できれば嬉しいです。よろしくお祈いします。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	MICE実務(社会人基礎) Mice bussiness practice	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	松岡 尚美
学科・コース	ホテルグローバルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日4時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>MICEは開催時には国内外からたくさんの方が訪れ、会場や宿泊場所となるホテルとも関係が深く、多くの集客交流が見込まれるビッグビジネスです。昨今、ビジネスは多様化し、グローバルな視点と顧客意識を持つことがお客様満足度を向上させ、企業の発展につながります。「観光大国ニッポン」の将来を見据え、あらゆる視点から学んでいきます。</p> <p>※実務経験: 藤田観光株式会社小倉ワシントンホテルにて4年半フロント課勤務。 ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル1級取得。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>①MICEに関する情報を収集し、国を超えたすべての人が働くことを通じて共生し、日本の活力になるようビジネス視点で考えることができる。</p> <p>②社会人基礎力の向上を踏まえたビジネスマナー、ホスピタリティの再確認と意識改革。</p>							
授業計画・内容							
1回目	オリエンテーション : 講義の説明 日本観光ビジネスの概要について理解することができる						
2回目	国際観光客の今後の予想、観光客のニーズの変化やトレンドについて理解することができる						
3回目	外国人観光客へのおもてなし① 「やさしい日本語」をはじめとする多言語化対応について正しく理解し実践することができる						
4回目	外国人観光客へのおもてなし② ムスリム対応の実例を踏まえ、正しく理解することができる						
5回目	外国人観光客へのおもてなし③ パリエーション豊富な食事(宗教や料理)について正しく理解し対応することができる						
6回目	MICEがもたらす経済効果と呼び込むための戦略について、考えることができる						
7回目	フランス料理の巨匠・三國清三シェフから学ぶ「人生突破術」の動画視聴後、自分の考え・思いをわかりやすく人に伝えることができる						
8回目	社会人1年生から始める“意識改革”① 社会人としての仕事への取り組み方と心構えについて、自分で考え理解することができる						
9回目	社会人1年生から始める“意識改革”② 新聞を読み、世の中の動向に関心を持つことができる						
10回目	社会人1年生から始める“意識改革”③ コスト意識を持ち、会社の売上や利益を考え行動することができる						
11回目	社会人1年生から始める“意識改革”④ ビジネスマナーと職場のコミュニケーションを再確認し良好な関係を目指すことができる						
12回目	キャリア形成について考え、5年後、10年後の自分の未来・夢・目標を描くことができる						
13回目	前期評価試験対策						
14回目	前期評価試験						
15回目	前期講義のまとめ						
準備学習 時間外学習	適宜プリントを配布しますので、各自でファイリングできるよう準備をしてください。						
評価方法	レポート評価: 100%						
受講生への メッセージ	将来、思いっきり輝くためにも今は基礎・基本を身につける時期です。基本修得なくして成長はできません。社会に出るまえの練習の場だと思って、しっかり学び理解を深め、自分のできることを増やしましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】							
<p>初心者やさしい旅館ホテル・観光の教科書/日本ホテルレストラン経営研究所 社会人1年生の教科書/新星出版社</p>							

科目名 (英)	キャリアプログラム Carrer program	必修 選択	選択必修	年次	3・4年	担当教員	佐野太一
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 木曜3限
【学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 【学習内容】							
※実務経験:大手印刷会社での企画営業、製造メーカーにおける企画広告宣伝部や、広告デザイン制作企業において企業課題・問題解決に取り組む。							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・業界に必要なチームワークを身につけ実践することができる。</li> <li>・状況に応じた態度、発言を実践し、円滑にコミュニケーションとプレゼンテーション能力を図る。</li> </ul>							

授業計画・内容	
1回目	4/10 インフォメーション、2025年度年間の確認
2回目	4/17 インフォメーション、就職活動に関して
3回目	4/24 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
4回目	5/8 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
5回目	5/15 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
6回目	5/22 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
7回目	5/29 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
8回目	6/12 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
9回目	6/19 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
10回目	6/26 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
11回目	7/3 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
12回目	7/10 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
13回目	8/21 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
14回目	8/28 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
15回目	9/4 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
準備学習 時間外学習	企業プロジェクト製作時間に充てる場合があります。 (その際は都度指示を出します)
評価方法	① 課題提出とその内容(80%) ② 授業取り組みとその態度・姿勢(20%)
受講生への メッセージ	通常のHR事項に加えて、取り組んでいる企業プロジェクトの実行制作の時間をこの時間においても行います。 3年生は就活に向けての準備を整える機関になります。準備を整えて就活に臨みましょう。 4年制は学生生活最後の1年間の締めくくりを良いものにしていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	フードビバレッジ実習	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	白川 明彦 / 石川 康二 / 上園 信也
	Beverage foundation	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 随時
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科・ホスピタリティビジネス科						

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

ホテル、レストラン、御礼等で必要な知識やスキルを実習形式で学びます。

※実務経験:  
 <石川>1988年～2009年の21年間日本料理を歴任。ホテル・料亭・寿司割烹店で活躍 専門調理師日本料理取得・専門調理師寿司料理取得・調理師免許取得・全日調理師協会日本料理師範の称号受賞・河豚免許取得  
 <白川>:1988年4月～2012年3月までホテル、レストラン、給食委託事業に勤務。ホテル、レストラン、病院給食部門、老健施設、社食、寮などの立上げ提供のオペレーションからメニュー開発まで統括SV、料理長にて運営に携わる。公益法人 全日本司厨士協会福岡支部 理事・アカデミー銅賞授与 / 社団法人 日本エスコフォエ協会 ディシプル章授与。免許取得:西洋部門(専門調理師・調理技能士)、調理師免許  
 <上園>東京恵比寿・熊本(モリコーネ)・イタリアナポリ(BAR ROSSO)・鹿児島(トレ・グラッポリ)にてカフェ・レストランにてマネージャー&パスタとして10年間勤務し、様々なカフェのオープニング立ち上げやパスタの育成に従事。JBA(日本パスタ協会)認定資格・IAC(国際カフェテイティング協会)認定資格取得。

【到達目標】

- ・レストラン・婚礼の場で自身がサー빙する(提供する)際、その一皿がどのような過程(材料・調理法・レシピ)で作られているのかを学び体感することができる。
- ・アレルギーや宗教的な面で調理スタッフが気を付けていることを知ることができる。

授業計画・内容

1回目	6月27日(金) 1限 オリエンテーション(授業の内容、シラバス確認、授業日確認) ※703教室に集合してください
2回目	7月4日(金) 1限 フード&ビバレッジについて ※703教室に集合してください
3回目	7月11日(金) 1限 フード&ビバレッジについて ※703教室に集合してください
4回目	7月18日(金) 1限 フード&ビバレッジについて ※703教室に集合してください
5回目	7月22日(火) 1限 <白川先生> 第7節 フランス料理の種類と調理例【講義形式】 フランス・イタリア料理の違いについて、フルコース料理:ソースと魚・肉料理①
6回目	7月22日(火) 2限 <白川先生> 第7節 フランス料理の種類と調理例【講義形式】 フランス・イタリア料理の違いについて、フルコース料理:ソースと魚・肉料理②
7回目	7月22日(火) 3限 <白川先生> 第7節 フランス料理の種類と調理例【実習形式】 料理名:ハンバーグサンド/フライドポテト テイクアウト商品を作ろう①
8回目	7月22日(火) 4限 <白川先生> 第7節 フランス料理の種類と調理例【実習形式】 料理名:ハンバーグサンド/フライドポテト テイクアウト商品を作ろう②
9回目	7月23日(水) 1限 <石川先生> 日本料理の歴史・文化を知ることができる。
10回目	7月23日(水) 2限 <石川先生> 日本料理の懐石料理・精進料理・茶懐石料理について学ぶ
11回目	7月23日(水) 3限 <石川先生> 日本料理の食事の取り方とマナーについて知ることができる。
12回目	7月24日(木) 1限 <上園先生> 紅茶の歴史～3大紅茶～試飲
13回目	7月24日(木) 2限 <上園先生> 珈琲の歴史～ドリップ抽出～ドリップ以外の様々な抽出について学ぶことができる。
14回目	7月24日(木) 3限 <上園先生> 近代の珈琲～エスプレッソ抽出～試飲について知ることができる。
15回目	7月24日(木) 4限 授業のまとめ(最終レポートを記入)

準備学習  
時間外学習

評価方法

課題レポート 100% ※7月24日 4限にレポートを記入し、内容で評価します。

受講生への  
メッセージ

皆さんが目指すホスピタリティ業界で、食や料飲サービスはとても重要な要素です。  
 自分にとってプラスになる知識やスキルを学ぶことができるので各講義でしっかり吸収していきましょう！  
 ※授業日がイレギュラーなため、日程を各自漏れなく確認してください。

【使用教科書・教材・参考書】

第5回目以降、エプロン・三角巾・黒ボトムスで参加すること。(アクセサリー、時計は必ず外す)身だしなみが整っていない場合、授業に出席することはできません。

科目名 (英)	レストラン技能検定/レストランマネジメント Restaurant service skill test	必修 選択	選択必修	年次	2・3・4	担当教員	麻生 亮
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日3時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 授業を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。							
※実務経験: レストランひらまつ: レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡: レストランサービス20年勤務							
【到達目標】 レストラン技能検定に全員合格することができる。							

授業計画・内容	
1回目	2022年過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる
2回目	2022年過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる
3回目	2023年過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる
4回目	2023年過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる
5回目	2024年過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる
6回目	2024年過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる
7回目	課題の抽出と克服
8回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる
9回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る
10回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る
11回目	各年代における過去問題の平均95点取得出来る様になる
12回目	各年代における過去問題の平均95点取得出来る様になる
13回目	実技試験対策
14回目	評価週 実技試験対策
15回目	実技試験対策
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	筆記試験 100%
受講生への メッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見
【使用教科書・教材・参考書】 西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	ワイン解説Ⅰ ワイン解説Ⅲ Study of wine I・Ⅲ	必修 選択	選択 必修	年次	3・4	担当教員	池本 健介先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)				曜日・時限	火曜日4限目		
<p>ワインに関する基礎知識を得ると共に、実践形式での授業を行い即戦力となれることを目指す。授業前半座学、後半実技。</p> <p>＜講師＞ 2015年株式会社ホテルオークラ福岡入社。宴会場2年、レストランに1年勤務し、その後BAR倉吉に5年勤務。バーテンダー資格、レストランサービス技能資格などを取得。在籍中、カクテルコンテストに出場。現在は、TONY'S BARIに勤務し、所属する日本ホテルバーメンズ協会九州支部より派遣され今回講師を務める。</p> <p>【到達目標】 ワインの歴史や各国文化を総合的に学び、サービス方法やテイasting方法を身に付け、造詣を深めることができる。 “ワインに関する歴史、栽培、醸造方法、各国のワインについて知識をつける。 技術面では、ワインサービスに関わる各器材の使い方、提供方法、セッティング、片付けまで習得する。”</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション・酒類概論 飲料サービス用備品に触れることができる(2回目より毎回サービス実践)
2回目	ワインの歴史やブドウの栽培方法、醸造方法を学び、ワインについて知ることができる ワインサービスの実践
3回目	ワインの主要なブドウ品種、ラベルの読み方、ワインのサービス方法を知ることができる ワインサービスの実践
4回目	ワイン生産国について ①フランス ボルドー・ブルゴーニュの2大産地を理解することができる ワインサービスの実践
5回目	ワイン生産国について ②フランスその他の主要産地について学ぶことができる ワインサービスの実践
6回目	ワイン生産国について ③イタリア・ドイツ・スペインについて学ぶことができる ワインサービスの実践
7回目	ワイン生産国について ④アメリカ・チリ・日本について学ぶことができる ワインサービスの実践
8回目	ワイン生産国について ⑤オーストラリア・ニュージーランド・南アフリカについて学ぶことができる ワインサービスの実践
9回目	ワイン以外の飲料について ビール・スピリッツ・リキュールについて学ぶことができる 各種飲料の提供実践
10回目	ワイン以外の飲料について 日本酒・カクテルについて学ぶことができる 各種飲料の提供実践
11回目	レストランシミュレーションを実施することができる(サービストレーニング)
12回目	レストランシミュレーションを実施することができる(サービストレーニング)
13回目	復習・ディスカッションを実施することができる
14回目	試験を通じて自身の習熟度を理解することができる
15回目	試験の復習を通じて自身の足りない知識を補い14回の授業の総括をすることができる
準備学習 時間外学習	コンビニやスーパーなど、ワインを見つけたら手に取ってみてください。名前や産地、ポップに書かれている香りや味の特徴を見てワインに興味を持てる工夫をしてみてください。
評価方法	授業態度20%・期末試験80%
受講生への メッセージ	まずはワインに親しみましょう。 ワイン以外のことも、レストラン・バー・ホテルに関することは何でも質問してください。
【使用教科書・教材・参考書】	
講師作成資料(参考文献:日本ソムリエ協会教本 HBAオフィシャルバーテンダーズブック)	

科目名 (英)	英検/TOEIC対策/英会話 ToEIC measures	必修 選択	選択必修	年次	2・3・4	担当教員	坂田 未央
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期 月曜日1時限 / 火曜日1時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) TOEICは全世界で通用する、ビジネス英語の熟練度を測る試験です。このTOEIC試験の内容をざっと網羅し、リスニングと語彙・文法・読解問題の攻略にあつたの、基礎固めを目指すクラスです。</p> <p>※実務経験:2020年より当校ホテル・エアラインの学生対象にTOEIC、英検対策の授業を行う。2024年 福岡こども専門学校にて保育英会話講師。自宅にて行う英語の個人指導実績は過去に90名以上。(進学実績:九州大・早稲田大・上智大・東京理科大、法政大・明治大など)。東京外国語大学外国語学部英語科卒業。通訳経験、翻訳業務経験多数。英検1級 TOEIC975</p>							
<p>【到達目標】 TOEICテストの全貌を学ぶことができる。TOEIC初級でも、とくに得点しやすいリスニングの前半問題と語彙文法問題に数多く取り組むことで、得点力をアップすることができる。 目標得点(3級レベル:400点以上 準2級レベル:500点以上 2級レベル:600点以上 準1級レベル:700点以上)をクリアする実力をつけることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	年初のオリエンテーション。TOEICテストの内容解説をし取得の意義を伝えることでモチベーションを上げることができる。
2回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
3回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
4回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
5回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
6回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
7回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
8回目	これまでの復習テストをすることにより、弱点を知り改善することができる。
9回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
10回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
11回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
12回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
13回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
14回目	これまでの復習テストをすることにより、弱点を知り改善することができる。
15回目	テストの講評と解説をすることで弱点を知り、その場で修正することができる。
準備学習 時間外学習	毎回ではありませんが、語彙の復習ミニテストなどもあります。その時は前の週にお伝えしますので、しっかり復習をしてきてください。
評価方法	授業中のパフォーマンス・ミニテストの得点:50% 中間期末試験:50%
受講生への メッセージ	TOEICは英検とは全く毛色の違う語彙や出題形式をもった国際資格で、独自の勉強が必要です。幅広いスキルが要求されますので、最初は圧倒されるかもしれませんが、まずは基礎となるシンプルなリスニング問題と語彙文法問題を攻略して、しっかり実力をつけていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
「TOEIC公式問題集10」 「TOEIC書き込みノート」 そのほか、随時必要に応じてプリント教材	

科目名 (英)	英語Ⅲ English Langage Ⅲ	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	TUNDE ODEGBARO先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日2限目/火曜日2限目
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 英語でのコミュニケーションやエアライン業界に必要な英語力を身につけます							
【実務経験】 英語講師歴10年							
【到達目標】 英語能力をより高める授業内容で、英語でのコミュニケーション能力を伸ばすことができる。ホテル内で使用する接客英語をロールプレイング形式で学び、自身で表現することができる。							

授業計画・内容	
1回目	人の好き嫌いについて話せる
2回目	個人的な背景や興味について話すことができる
3回目	旅行や休暇について話すことができる
4回目	困難な経験について話すことができる
5回目	レッスン1-4の復習
6回目	時間と期間を表現できる
7回目	今後の計画について話し合うことができる
8回目	起こった出来事について話すことができる
9回目	まだ起こっていないことについて話せる
10回目	レッスン6-9の復習
11回目	提案できる
12回目	あなたが住んでいる場所でやるべきことについて話すことができる
13回目	テストのための復習
14回目	テスト
15回目	テスト解説
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください
評価方法	最終テスト75%、授業内での発表数25%
受講生への メッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。
【使用教科書・教材・参考書】 授業内筆記(この授業専用のノートを用意してください。) ※注) 他の授業のノートと一緒にしないようにしてください。 必要に応じて「Hospitality English for Careers at Hotels.」教科書を使用します。	

科目名 (英)	企業プロジェクト Corporate Collaboration Project	必修 選択	選択必修	年次	3・4	担当教員	佐野 太一
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科(観光・ホテルグローバル)	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜4限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】  
目的に沿った企画やサービスの開発と運営に取り組み実践力(マネジメント力)を身につける

※実務経験:大手印刷会社での企画営業、製造メーカーにおける企画広告宣伝部や、広告デザイン制作企業において企業の課題・問題解決に取り組む。

【到達目標】  
企業目標目的を理解しプランニングから実践、マネジメントに取り組み企画を成功させる

授業計画・内容	
1回目	企業プロジェクトの目的(業界で求められる5つの力)(4/16)
2回目	業界の現状について、課題や解決法について①(4/23)
3回目	業界の現状について、課題や解決法について③(5/7)
4回目	企業プロジェクト開始予定(以降適宜実施)
5回目	企業プロジェクト実務(以降適宜実施)
6回目	企業プロジェクト実務(以降適宜実施)
7回目	企業プロジェクト実務(以降適宜実施)
8回目	企業プロジェクト実務(以降適宜実施)
9回目	企業プロジェクト実務(以降適宜実施)
10回目	企業プロジェクト実務(以降適宜実施)
11回目	企業プロジェクト実務(以降適宜実施)
12回目	企業プロジェクト実務(以降適宜実施)
13回目	企業プロジェクト実務(以降適宜実施)
14回目	企業プロジェクト実務(以降適宜実施)
15回目	企業プロジェクト実務(以降適宜実施)
準備学習 時間外学習	前回取り組んだ内容を常にブラッシュアップを行う。次回授業で確認する。 ※企業ミーティングに参加する際はスーツ着用、身だしなみを整えて参加すること。
評価方法	① 課題提出とその内容(80%) ② 授業取り組みとその態度・姿勢(20%)
受講生への メッセージ	学んできた技術や知識は、実践で使うことで効果を発揮します。しかしながら知識や技術だけでは解決しないことも実践においては多くあります。そのためには自らが調べ、考え、それを伝える努力をしなければなりません。その行動力をこの授業を通して身につけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	手話/業界研修Ⅲ Sign language	必修 選択	選択必修	年次	2・3・4	担当教員	上田 直子 / 村上 奈緒美
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日2時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  
福岡市手話奉仕員養成事業の講師の実績がある講師が、手話の基本文法を指導する。  
聴覚障害者を理解し、聴覚障害者との場面によってはコミュニケーション手段や簡単な手話による会話の実践を行う。

※実務経験:福岡市手話奉仕員養成事業の講師の実績がある。

【到達目標】

- ・手話で自己紹介を表現することができる
- ・きこえない人とのコミュニケーション手段を説明することができる
- ・いろいろな職業で使えるような接客用語を表現することができる

授業計画・内容	
1回目	第1講座 「ろう者の生活」
2回目	第2講座 伝え合ってみましょう 手の動きや表情で伝え合えることができる
3回目	第3講座 自己紹介をしましょう 手話で名前を表現できる
4回目	第4講座 自己紹介をしましょう 手話で家族を表現できる
5回目	第5講座 自己紹介をしましょう 手話で数を表現できる
6回目	第6講座 自己紹介をしましょう 手話で趣味を表現できる
7回目	第7講座 自己紹介をしましょう 手話で仕事を表現できる
8回目	第8講座 自己紹介をしましょう 手話で住所が表現できる
9回目	第9講座 まとめ 自己紹介を手話で話すことができる
10回目	第10講座 話してみよう！ 1日のことを手話で話すことができる
11回目	第11講座 話してみよう！ 1か月のことを手話で話すことができる
12回目	第12講座 話してみよう！ 1年のことを手話で話すことができる
13回目	総合復習
14回目	試験
15回目	手話スピーチ
準備学習 時間外学習	復習してください
評価方法	・出席率 40% ・筆記試験 30% ・手話の読み取り試験 30%
受講生への メッセージ	手話を学んで、いろいろな場面で、ろう者とのコミュニケーションが出来るように学習します。一緒に頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

手話奉仕員養成テキスト 手話で学ぼう手話で話そう

科目名 (英)	就職講座Ⅱ/業界研修Ⅲ/ユニバーサルサービス Universal service	必修 選択	必修 選択	年次	2・3・4	担当教員	廣田 能律恵先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日4限目
【授業の学習内容】							
ユニバーサルマナーを振り返り、公共の場での導入需要が高まっているサービス介助士の知識やノウハウも加えて、より多角的かつ実践的に学びます。被介助者引いてはお客様目線での対話にも使えるコミュニケーションのポイントを学び、面接試験における「傾聴」と「対話」の中で自己PRができるよう導きます。							
【実務経験】							
全日本空輸(株)運航本部およびANAグループ複数社にて品質推進、旅客サービス各種、接遇・アナウンス等教育、運航支援、搭降載管理等に10年間従事。講師業の他、大手教育事業社の店舗にて営業接客・MC・運営サポート及び同社こども英語教室、大手老舗百貨店外商部、行政機関等での勤務経験も有する。							
【到達目標】							
ユニバーサルマナー検定を通じて学んだことを実際にどう使っていくのか実践的に行うことができる。							
多様性が求められる社会において、企業に求められる責任について法的根拠も理解し、正確な知識とホスピタリティに則った実践方法を習得することができる。							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介 ユニバーサルマナーの復習をしつつ、多様性社会で企業に求められる「責任」および法的根拠を理解し、それを担える意識改革ができる
2回目	サービス介助の認識、エイジズム、障害の「個人モデル」と「社会モデル」についての意識を持ち、社会で自分が求められることを考察できる
3回目	介助時の対話の重要性とコミュニケーションのポイントを理解できる
4回目	車椅子の種類・構造・取扱い方法、白杖の種類・取扱いの注意点・利用者への配慮・非常時の見分け方などを理解できる
5回目	高齢者・車椅子利用者の介助やサービスを実践できる
6回目	視覚障害者への介助やサービスを実践できる
7回目	サービスとホスピタリティ、おもてなしの差異について理解できる
8回目	志望する業界に求められるホスピタリティとチームワークについて理解することができる
9回目	自身の目指すホスピタリティやチームワークについて考察し、就職試験の対策に活用することができる
10回目	接客や就職対策に活かせるコミュニケーションスキルを学ぶことができる(概論)
11回目	接客や就職対策に活かせるコミュニケーションスキルを学ぶことができる(話し手のポイント)
12回目	接客や就職対策に活かせるコミュニケーションスキルを学ぶことができる(聴き手のポイント)
13回目	女性の社会進出の実態および活躍できる業務、ライフスタイルに合わせた働き方について、企業人に求められる意識と共に考察することができる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
	総括
準備学習 時間外学習	授業で学んだことや考えを巡らせたことは、日常生活やアルバイト等で実践し、接遇スキルも人としての魅力もどんどん高めましょう！テキスト類は適宜読み返して、自己成長やモチベーションの維持に活かしましょう。
評価方法	期末テスト 100% (筆記および実技試験)
受講生への メッセージ	「人との繋がり」という共通項の複数の業界で経験してきた多様な知見を基に、「働く」ということについてお伝えしていきます。そのやりがいと共に、企業人としての在り方、求められるプロフェッショナルの意識、チームワークの重要性についてもしっかりと考えていきましょう。それらが結果として「就職対策」として確実な近道となります。またサービス介助士としての知識を基に、多様性についても盛り込みます。多様性が尊ばれる今の社会において「区別」と「差別」の違いを認識し、個性を尊重しつつ、在りのままの自分の強みについても柔軟に考えてみましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
オリジナルテキストおよびプリント等を適宜配布	

科目名 (英)	就職講座 I / 企業プロジェクトA Work Seminar I	必修 選択	必修 選択	年次	2・4	担当教員	廣田 能律恵先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 金曜日2限目
【授業の学習内容】							
就職活動の全体図を認識し、考え方や意識改革、視野の拡大を図り、社会人として求められることや自分自身の夢を叶えるために必要な要素を洗い出します。正未研究の自己分析の方法、時事問題へのアプローチの考えを踏まんに就職活動への活かし方を学び、「傾聴」の対話の中で自己分析の糸道を築きます。							
【実務経験】							
全日本空輸(株)運航本部およびANAグループ複数社にて品質推進、旅客サービス各種、接客・アナウンス等教育、運航支援、搭降載管理等に10年間従事。講師業の他、大手教育事業社の店舗にて営業接客・MC・運営サポート及び同社子ども英語教室、大手老舗百貨店外売場、行政機関等での勤務経験も有する。							
【到達目標】							
就職試験の対策基礎(就職活動の流れ・企業研究方法・自己分析・時事問題)を学び、理解し、内定取得に向けての準備ができる。 研究結果について他者と意見を交換し、多角的な視点で考察する力を培うことができる。 日頃から時事問題を「自分事」と捉え、自分なりの意見やアイデアを持ち、就職試験において臨機応変にオリジナルの意見を出せる基礎力を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーションを通して就職活動の全体図を思い描ける。学生(アルバイト)と社会人の違いを理解し、将来の人生設計について考察できる
2回目	目標をカテゴリー別に設定し、自己分析と必要な要素・知識を明確にできる
3回目	PDCAサイクルを学習姿勢に応用し、様々な行動の基軸とすることができる
4回目	PREP法を引用して日頃から論理的思考および表現ができるようになる
5回目	就職試験で求められる一般常識や学力レベルについて理解できる 情報収集のポイントとアプローチの方法を理解できる
6回目	時事問題へのアプローチの方法を理解し、対策を実践することができる(練習回)
7回目	与えられたテーマの時事問題を考察・発表し、他者と意見交換しながら創造的思考力をつけることができる①
8回目	与えられたテーマの時事問題を考察・発表し、他者と意見交換しながら創造的思考力をつけることができる②
9回目	企業研究の方法とポイントを理解し、実践・考察することができる
10回目	異なる2社を比較し、企業間の差異と研究の必要性を実感できる①
11回目	異なる2社を比較し、企業間の差異と研究の必要性を実感できる②
12回目	自己分析について既習内容を振り返り、分析内容と必要性を確認することができる
13回目	自己分析の意義と企業の視点について考察することができる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	自己分析や企業研究等、指示された課題は必ず行い、授業の時間を最大限有効に使えるようにしましょう。面接練習で習ったポイントは、授業後にくり返し練習しましょう。
評価方法	期末テスト 100% (筆記および実技試験)
受講生への メッセージ	進級おめでとうございます。いよいよ就職対策が始まりますね。面接などに不安を感じる人もいるでしょうが、焦る必要はありません。一人ひとりの魅力は異なるため、質疑応答に正解はなく、問われているのはあなたの人間性と未来への意気込みです。今まで一生懸命頑張ってきたことや、失敗から学んだ積み重ねこそがあなたの魅力です。自分自身と素直に向き合い、それらを相手に伝えましょう。時間は全ての人に平等であり、夢は強く具体的に願った人ほど叶えられます。日々の学びを大切に、すぐ先にある未来の夢に向かって一歩ずつ着実に歩みを進めましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
オリジナルテキストおよびプリント等を適宜配布	

科目名 (英)	就職講座 Work Seminar	必修 選択	必修 選択	年次	3・4	担当教員	廣田 能律恵先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 金曜日3限目
【授業の学習内容】 丁寧な自己分析と企業研究に基づき、企業に求められるホスピタリティに富んだ人柄や熱意、将来性が伝わるような応募書類の作成を指導します。また必要なマナーや様々な形式の面接試験の各ポイントを抑え、「傾聴」と「対話」の中で自信を持って魅力ある自己PRができるよう導きます。							
【実務経験】 全日本空輸(株)運航本部およびANAグループ複数社にて品質推進、旅客サービス各種、接遇・アナウンス等教育、運航支援、搭乗管理等に10年間従事。講師業の他、大手教育事業社の店舗にて営業接客・MC・運営サポート及び同社こども英語教室、大手老舗百貨店外商部、行政機関等での勤務経験も有する。							
【到達目標】 就職試験対策(自己分析・時事問題・面接対策・グループディスカッション等)を行い自分に合った企業の内定を獲得できるよう準備することができる。							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介を通して自己分析の深度を確認できる オリエンテーションを通して就職活動の全体図を思い描ける 就職する意味を理解できる
2回目	受験先へのエントリー方法、応募書類の作成方法および提出マナーを習得できる
3回目	業界および企業研究の着目ポイント、企業と学生の視点の違いと重視すべきポイントを認識できる
4回目	自己分析の必要性を理解して、ポイントを抑えた客観的な自己分析の方法を習得できる(自分史の作成、経験の振り返りと分析)
5回目	自己分析の結果から自己を客観的に捉え、長所や特技を抽出できる ●エゴグラム(性質、他者との関わり方、集団での立ち位置)
6回目	PREP法に則り、わかりやすく説得力のある表現を習得できる ●記述 ●口述 ●リフレーミング
7回目	志望企業や職種を意識して、経験や長所から基本的な自己PRを作成することができる ●企業研究 ●趣味・特技
8回目	自己分析・業界研究・企業研究を踏まえて、企業への熱意と将来の活躍を感じさせる説得力のある志望動機を作成することができる
9回目	基本的な履歴書を作成し、添削を受けることができる
10回目	面接試験の重要性と必要なマナー、「対話」のポイントを理解できる ●マナー ●表情 ●立ち居振る舞い ●発声 ●対話力 ●傾聴姿勢
11回目	経験、自身の抱くホスピタリティ、長所、趣味・特技などを踏まえた魅力ある自己PRを口述できる 聴き取りやすい発声と滑らかな活舌を習得できる
12回目	グループ面接のポイントを理解し、練習と振り返りができる
13回目	グループディスカッションのポイントを理解し、練習と振り返りができる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	自己分析や企業研究等、指示された課題は必ず行い、授業の時間を最大限有効に使えるようにしましょう。 この授業は自分自身と向き合うことからスタートします。テーマはあなた自身です。常に「自分とは？」という意識を抱いて生活してください。 受け身で受講するのではなく、積極的に言葉や声を紡ぎ、仲間と支え合い、刺激し合い、自分自身の成長の場としましょう。 面接練習で習ったポイントは、授業後もくり返し練習しましょう。
評価方法	期末テスト 100% (筆記および実技試験)
受講生への メッセージ	進級おめでとうございます。この授業では本格的な就職対策を行います。不安を感じる人もいるでしょうが、焦る必要はありません。一人ひとりの魅力は異なるため、質疑応答に正解はなく、問われているのはあなたの人間性と未来への意気込みです。今まで一生懸命頑張ってきたことや、失敗から学んだ積み重ねこそがあなたの魅力です。自分自身と素直に向き合い、それらを相手に伝えましょう。時間は全ての人に平等であり、夢は強く具体的に願った人ほど叶えられます。日々の学びを大切に、すぐ先にある未来の夢に向かって一歩ずつ着実に歩みを進めましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルテキストおよびプリント等を適宜配布	

科目名 (英)	ITテクノロジー	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	増田 綾香
学科・コース	ホテルグローバルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) WEBマーケティングの基礎を理解し、顧客の認知から購買の流れを学習する。</p> <p>※実務経験: IKK株式会社にてウェディングプランナー/営業部として3年勤務。その後、株式会社グローバルエージェンツにてウェディングプランナー、PR担当として3年勤務 2023年3月よりフリーランスのウェディングプランナー兼 業務委託でライフローラ株式会社のウェディングプランナーを担当中。また、WEBマーケティングについての講義実績も有る。</p> <p>【到達目標】 WEB上での顧客の認知から購買までの流れを理解することができる</p>							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介、今後の流れ、WEBマーケティングについての知識を身に付けることができる
2回目	WEBマーケティングのターゲット、ペルソナ設定について理解することができる
3回目	WEBマーケティングフローについて理解することができる①
4回目	WEBマーケティングフローについて理解することができる②
5回目	ブランディングについて理解することができる①
6回目	ブランディングについて理解することができる②
7回目	流入経路について理解することができる(ホテルOTA)
8回目	流入経路について理解することができる(エアラインなど)
9回目	流入経路について理解することができる(ゼクシィ)
10回目	WEBマーケティングの必要性、目的について理解することができる
11回目	流入施策の理解(WEB広告、SEO、SNSマーケティング、記事広告)
12回目	SNSマーケティングの概要
13回目	Instagramのアカウント運用
14回目	評価テスト
15回目	振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	平常点30%、期末試験70%
受講生への メッセージ	はじめまして。 ブランディングの重要性を知り、WEBマーケティングを理解して、役に立てるように頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ホスピタリティエコノミクス / コーチングスキル Hospitality Economics / Coaching skills	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	白石 真紀
学科・コース	ホテルグローバルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 今や、ビジネス上で、コーチングスキルは欠かせないと言われていています。人に関わる仕事をする上で、接脚において、自分のモチベーションを高めるにおいて、ビジネスマナーと共に、学んでいきましょう。							
【実務経験】 大学卒業時の就職活動で九州各県のマスコミ企業、一般企業の面接を受け、最終面接まで多数経験。卒業後は医療コンサルティング会社の営業を経て、司会業に転身。イベント、式典、婚礼、講演会などの司会業務に従事して20年、担当婚礼件数は2,000組～を更新中。その間に、ストレスケアカウンセラー養成、また国家資格キャリアコンサルタントを取得。専門学校、短大、大学において、社会人基礎力、コミュニケーションの講義を担当、就活生に向けて面接指導を行い、現在に至る。							
【到達目標】 ・基本的なビジネスマナーが身に付く。 ・コーチングに至るまでの基本的な心理学ツールが理解できる。 ・上記のスキルで他者援助、自分のモチベーションアップができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	特別講義
2回目	オリエンテーション コーチングとは何か？歴史と概要が理解できる
3回目	コーチングの役割とスキル 基本的なスキルについて知ることができる
4回目	コーチングのプロセス ゴール設定、行動計画の立案ができるようになる
5回目	実践的なコーチング技法の紹介 GROWモデル SMART目標設定などが理解できる
6回目	コーチングにおけるコミュニケーション 非言語の重要性を理解し、アクティブリスニングの実践ができる
7回目	エンパワメントとモチベーション 強みを発見し、モチベーションを引き出すことができる
8回目	効果的なフィードバック ポジティブな改善点の指摘ができるようになる
9回目	ケーススタディ グループでのディスカッションで実践が経験できる
10回目	コーチングとリーダーシップ コーチングとリーダーシップの融合が理解できる
11回目	コーチングの応用 ストレスマネジメント等への応用ができるようになる
12回目	セルフコーチングについて 自己理解、目標設定へ自己フィードバックができるようになる
13回目	セルフコーチングの実践 自己分析、目標達成のための行動計画ができるようになる
14回目	セルフコーチングの継続 セルフコーチングを日常に取り入れられるようになる
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	日頃から、ニュースや新聞に目を通すようにしてください。
評価方法	課題提出 20% 授業態度40% 筆記テスト40%
受講生への メッセージ	コーチングは、理論やスキルを理解できると、モチベーションを上げるために、他者はもちろん、自分への活用も可能です。就職もそうですが、仕事も、つねに目標を掲げて達成に向けての実践が必要です。しかし、時には思い通りにいかないこともあるでしょう。その際に、コーチングを活用して、イキイキと自分の人生を生きられることをイメージして、毎回の授業を楽しんでいきましょ。
【使用教科書・教材・参考書】 都度、資料を配布します。	

科目名 (英)	英語 English	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	MONESTESDAVID
学科・コース	ホテルグローバルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) このレッスンの目標は知識を全体深め、異文化に対し興味をそそらせて社会的な面についてディスカッションをすることです。 毎回のテーマは生徒たちと話し合いながら決めると言う形です。</p> <p>※実務経験: ※実務経験: 2021年～オンラインで外国語の教師を務める。また九州日仏学館で約1年勤務したのちに、2023年から当校で講師を務める。</p>							
<p>【到達目標】 考え方と視点を広くすること</p>							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介、レッスンのコンセプトの紹介、次のテーマを決める
2回目	クラスで決めたテーマ
3回目	クラスで決めたテーマ
4回目	クラスで決めたテーマ
5回目	クラスで決めたテーマ
6回目	クラスで決めたテーマ
7回目	クラスで決めたテーマ
8回目	クラスで決めたテーマ
9回目	クラスで決めたテーマ
10回目	クラスで決めたテーマ
11回目	クラスで決めたテーマ
12回目	クラスで決めたテーマ
13回目	クラスで決めたテーマ
14回目	レポートの提出
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	レポート 100%
受講生への メッセージ	正しい答えはないトピックしかふれない。ディスカッションをしながらお互いに意見を交わしましょう。 このレッスンは日本語で行われます。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>記事、Youtube動画、TEDtalkなど</p>	

科目名 (英)	英会話(スピーキング・リスニング) English conversation	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	坂田未央 / はなだ 東砂
学科・コース	ホテルグローバルマネジメントコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期 曜日・時限 火曜日2時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  講義内容:すでによく知っている学生のみなさんの、それぞれの実力や到達度に合わせて、各自の英検レベルに合わせた受験指導を細やかにしていきます。前期に引き続き、動画や歌など興味をもてるトピックなどもはさみつつ、国際社会で通用する英語力を身に付けることができる授業をおこないます。</p> <p>※実務経験:2020年より滋慶学園にて、TOEIC指導、英検指導、英文法の授業を、オンラインと対面の両方でおこなってきた。また私塾にて延べ80名の小学生～大学生の英語指導をおこなう。翻訳・通訳の実務経験豊富。東京外国語大学英米語学科卒業。TOEIC970点 英検1級。</p>							
<p>【到達目標】 各自が目指す英検レベルの合格を目指し、読む、聴く、話す、書く、の4技能を身に付けることを目指します。</p>							

授業計画・内容	
1回目	ご挨拶とこれから半年の目標を確認することで、英語力をあげるためのやる気を高めることができる。
2回目	語彙力を身に付け、ある程度の長文を読むことができる。
3回目	語彙力を身に付け、ある程度の長文を読むことができる。
4回目	動画視聴をし、聞き取りや穴埋め問題にとりくむことで聴解力と表現力を身に付けることができる。
5回目	動画視聴をし、聞き取りや穴埋め問題にとりくむことで聴解力と表現力を身に付けることができる。
6回目	動画視聴をし、聞き取りや穴埋め問題にとりくむことで聴解力と表現力を身に付けることができる。
7回目	簡単な意見や考えを英語で表現することができる。
8回目	簡単な意見や考えを英語で表現することができる。
9回目	語彙力を身に付け、ある程度の長文を読むことができる。
10回目	語彙力を身に付け、ある程度の長文を読むことができる。
11回目	動画視聴をし、聞き取りや穴埋め問題にとりくむことで聴解力と表現力を身に付けることができる。
12回目	動画視聴をし、聞き取りや穴埋め問題にとりくむことで聴解力と表現力を身に付けることができる。
13回目	期末テストのための対策時間。質疑応答をすることによりこれまでの復習がじゅうぶんにできる。
14回目	期末テスト
15回目	テストの返却、解説。動画視聴などのおたのしみ会
準備学習 時間外学習	毎回授業のはじめに、前回の復習として単語や表現についてあてて質問します。しっかり答えられるように復習しておいてください。
評価方法	毎回の授業態度とパフォーマンス:3割 期末テスト:7割
受講生への メッセージ	あと半年でご卒業ですね。社会人になってから「あの時にもっと勉強しておけばよかった」と英語の勉強をしない社会人はとても多いです。時間がある学生時代のうちに、できるかぎり英語のスキルを磨いて、社会に出てから役立てるようになってください。応援しています。
【使用教科書・教材・参考書】	
旺文社「7日間完成」シリーズ、「過去問6回」シリーズ 講師による手製のプリント類	

科目名 (英)	英会話(スピーキング・リスニング) English conversation	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	はなだ 東砂 / 坂田 未央
学科・コース	ホテルグローバルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 生徒の実用英語検定合格に向けて15レッスンにわたり講義を行う。リーディング・ライティング・面接試験対策を行い、生徒の実用英語検定試験の合格に向けて、総合的な英語力の向上に務める。実用的なビジネス英語の基本を学ぶ。</p> <p>※実務経験:英語講師歴20年以上。英語翻訳実務経験5年以上。実用英語検定試験面接試験官歴23年。Professional Practices for English Language Teaching (英語教育のための専門的プラクティス) / British Council (ブリテッシュ・カウンシル)受講終了などの経歴及び資格を有する。</p>							
<p>【到達目標】 基礎英語を学ぶ。英検に合格できる。実用的なビジネス英語の基本を学ぶ。</p>							

授業計画・内容	
1回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、語彙学習/リーディング練習
2回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、語彙学習/リーディング練習
3回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、語彙学習/リーディング練習
4回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、語彙学習/リーディング練習
5回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、語彙学習/リーディング練習
6回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、語彙学習/リーディング練習
7回目	中間テスト/英検面接実践/課題提出
8回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、語彙学習/リーディング練習
9回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、語彙学習/リーディング練習
10回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、語彙学習/リーディング練習
11回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、語彙学習/リーディング練習
12回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、語彙学習/リーディング練習
13回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、語彙学習/リーディング練習
14回目	期末テスト/中間テスト/英検面接実践/課題提出
15回目	企画レッスン
準備学習 時間外学習	休暇時に課題提出あり
評価方法	授業態度10%、出席率10%、課題提出40%、中間テスト(面接実践)20%、期末テスト(面接実践)20%を総して採点
受講生への メッセージ	基礎英語の総復習から英検合格を目指して、丁寧に学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本 / 英検5・4・3級合格単語スピードマスター1250 / 10日で出来る中学英語3年分丸ごと総復習 / 英検100%合格にこだわった本 各級3級 準2級、2級 / 英検過去3回問題集(最新のもの)3級 準2級、2級 / 英検過去6回問題集(最新のもの)準1級等	

科目名 (英)	企業プロジェクト Corporate Collaboration Project	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	佐野 太一
学科・コース	ホテルグローバルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>【学習内容】 企業の問題や課題を企業と共に取り組む事により、プロの現場での課題への取り組み方を身に付ける。</p> <p>※実務経験: 大手印刷会社での企画営業、製造メーカーにおける企画広告宣伝部や、広告デザイン制作企業において企業課題・問題解決に取り組む。</p> <p>【到達目標】 企業の企画会議に都度参加することにより現場の仕事の進め方を学び、企画立案力、提案力を身に付ける。 そして考案する企画を採用していただくことを目標にする。</p>							

授業計画・内容	
1回目	(前期から引き続き)企業プロジェクトの取り組み方の確認、各人新プランの確認 (企業ミーティング 10月1日予定)
2回目	10/1_企業ミーティングの報告と次回ミーティングに向けての準備
3回目	次回企業ミーティングの準備 (企業ミーティング 10月15日)
4回目	10/15_企業ミーティングの報告と次回ミーティングに向けての準備
5回目	次回企業ミーティングの準備 (企業ミーティング 11月5日)
6回目	次回企業ミーティングの準備 (企業ミーティング 11月5日)
7回目	11/5_企業ミーティングの報告と次回ミーティングに向けての準備
8回目	次回企業ミーティングの準備 (企業ミーティング 10月19日)
9回目	11/19_企業ミーティングの報告と次回ミーティングに向けての準備
10回目	次回企業ミーティングと最終プレゼンテーションへの準備 (企業ミーティング 12月3日)
11回目	12/3_企業ミーティングの報告と最終プレゼンテーションに向けての準備
12回目	最終プレゼンテーション(12月第3週予定)
13回目	企業プロジェクトの取り組みとプレゼンテーションの振り返り
14回目	年度の振り返り
15回目	試験(レポート提出)
準備学習 時間外学習	前回取り組んだ内容を常にブラッシュアップを行う。次回授業で確認する。 ※企業ミーティングに参加する際はスーツ着用、身だしなみを整えて参加すること。
評価方法	① 課題提出とその内容(50%) ② 授業取り組みとその態度・姿勢(50%)
受講生への メッセージ	学んできた技術や知識は、実践で使うことで効果を発揮します。しかしながら知識や技術だけでは解決しないことも実践においては多くあります。 そのためには自らが調べ、考え、それを伝える努力をしなければなりません。その行動力をこの授業を通して身につけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】  適宜配布いたします。	

科目名 (英)	就職講座 Work Seminar	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	佐野 太一
学科・コース	ホテルグローバルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>【学習内容】 次年度の就職活動に向けて、具体的な活動方法から、実際の受験の試験対策を行っていく。</p> <p>※実務経験:本校キャリアセンター担当として実務と学生指導に従事してきた。</p>							
<p>【到達目標】 就職活動において自分自身の目標を定めて、その準備をこの授業内で就活前に整えて、就職活動の早期エントリー(解禁日:3月1日)し、早期内定獲得を実現します。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション(就活の進め方等)。
2回目	自己分析と目標設定
3回目	履歴書の確認と具体的企業に向けて
4回目	就活情報の取得から、求人情報の見方を学ぶ
5回目	企業特性を考える(企業情報の取得から企業分析)
6回目	履歴書/エントリーシート作成①
7回目	履歴書/エントリーシート作成②
8回目	履歴書/エントリーシート作成③
9回目	履歴書/エントリーシート作成④
10回目	面接対策①
11回目	面接対策②
12回目	面接対策③
13回目	模擬筆記試験(前期授業の振り返り)①
14回目	模擬筆記試験(前期授業の振り返り)②
15回目	直前対策
準備学習 時間外学習	前回学習した内容を常にブラッシュアップを行う。次回授業で確認する。
評価方法	① 課題提出とその内容(50%) ② 授業取り組みとその態度・姿勢(50%)
受講生への メッセージ	3年生前期までに学んだ事を実際の就活に結びつけるために自分自身の3年間まとめになります。ここで真剣に取り組む事で、就活の成功を掴むことが出来るでしょう。想定している就職先の企業レベルをワンランク上に設定することが出来るように取り組み、自信をもって就活に取り組みしましょう。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>適宜配布いたします。</p>	

科目名 (英)	ソムリエ演習 practice of Sommelier	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	増田 鉄平
学科・コース	ホテルグローバルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ウイスキー・スピリッツ・リキュールやその他日本酒・焼酎などの國酒のお酒を幅広く世界各国知識として学ぶこと、サービスの在り方やカクテル作成などを実習を通してできる。</p> <p>※実務経験: 大学在学中にインターンシップにてホテルバーの世界へ。その後ホテルバーにて研鑽を積みバーテンダー業界では25年余りとなる中、現在も老舗バーにて九州代表としてカクテルコンパティションへ出場し数々入賞する。</p> <p>【到達目標】 バーでの作法や総合飲料取扱者として、提供の仕方や接客方法を身につけられるようにする。</p>							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介・他己紹介、授業の目的、専門学校での過ごし方、授業内容の把握と目標設定。
2回目	【座学】BAR・カクテルについて 【実技】バーテンダーの姿勢、お酒やボトルの扱い方、副材料、氷、グラス、バーツール 等
3回目	【座学】お酒の基礎知識① 【実技】ステア&ビルド 練習 課題 ハイボール、水割り、を作る
4回目	【座学】お酒の基礎知識② 【実技】シェイク 練習 課題 ショートカクテルを作る
5回目	【座学】BAR接客について 【実技】接客(来店時、会話、オーダー、メイク、提供、お会計、退店時)& 課題カクテルを作る
6回目	中間テスト対策: バーテンダーとお客さまのグループに分かれて実際BARサービスを想定しトレーニング
7回目	中間テスト: 実技 課題カクテル1杯 (ジンフィズ)
8回目	中間テストの課題を克服
9回目	【実技】オリジナルカクテルメニュー制作① テーマ(プロポーズ時に提供するカクテル①~④)で作成する材料等も意見交換する)
10回目	【実技】オリジナルカクテルメニュー制作②
11回目	【実技】オリジナルカクテルメニュー制作③
12回目	【実技】オリジナルカクテルメニュー制作④
13回目	期末試験対策(一人でもカウンターセッティングできるように復習)
14回目	★期末試験 評価週 ※必ずシェイクここまでの授業で習った工程が出来ているか評価
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	授業に対する教材以外でも出来ることならばどんどんやってみましょう。
評価方法	●期末テスト: オリジナル創作 モクテル1種(ロング・ショート) 課題 1杯(ロング・ショート) 計2杯(予定) 100%(授業態度、身だしなみを含む)
受講生への メッセージ	・飲食業以外でも分からないことなどあれば、気軽に質問してください。少しでも皆様のプラスになるようにして、充実し時間が過ぎていければと考えております。
【使用教科書・教材・参考書】  HBAバーテンダーズマニュアル	

科目名 (英)	カジノマネジメント / MICE実務 Casino management/Mice Business practice	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	長谷川 耕平
学科・コース	ホテルグローバルマネジメントコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>早ければ2030年に大阪に開業するIR(統合型リゾート)。IRはいったいどういう施設なのか。IR施設を学ぶため、YouTubeなどにアップされている日本のアニメ、映画など、IRを舞台にした動画を使い、IRやMICEを学ぶ。</p> <p>また、教員が長年の取材で得た情報や、日本企業はIR開業でどういったことにビジネスチャンスと捉えているのかについても解説。</p> <p>※実務経験 2010年(株)オータパブリケーションズ入社。12年から国内テーマパーク担当。13年からIR担当。ホテル編集長を経て、現在は経営調査室 室長。九州IR推進協議会・講師(2021年)。電通、アサヒビール、共同印刷ほか、大企業の社内IR勉強会講師(2017～18年)。東京ホテル・ウエディング&amp;IR専門学校(2022年)。大妻女子大学、東洋大学、獨協大学、大阪学院大学ほか(2017年～)。直近は跡見学園女子大学(2024年)。</p> <p>【到達目標】</p> <p>カジノ施設やIRは世界約130カ国以上で合法で運営されている。 世界主要国G7でカジノ施設が運営されていないのは日本だけで、カジノ施設は特別な施設ではない。 カジノ＝ギャンブルであることは確かだが、なぜ世界中にカジノがあるのか。 どのようなカジノ施設が成功しているのか。これから日本にカジノ・IRができるとしたら、どのような施設であったら、日本人も行ってみたいと思うのか。</p> <p>本講座を受講して、「IR/カジノビジネス＝観光ビジネス」の1つと捉え、観光業は幅広い企業で成り立っていると意識できるレベルを目標とする。</p>							

授業計画・内容	
1回目 (9/26)	自己紹介・他己紹介、授業の目的、受講生から見て、日本にMICE誘致や、IR開業は必要なのかをディスカッション
2回目 (10/3)	統合型リゾート産業とは
3回目 (10/10)	シンガポール編／日本がお手本とするシンガポールのIRは何が違うのか
4回目 (10/17)	マカオ編／実は世界で1番ラグジュアリーホテルが密集するIR
5回目 (10/24)	実技授業 ★牧尾 理央先生
6回目 (10/31)	ラスベガス編／究極の地方創生！ 砂漠の町が、カジノで大都市に変貌！
7回目 (11/7)	韓国編／カジノ先行のIRは失敗！ ノンゲーミングの重要性を示した韓国IR
8回目 (11/14)	欧州編／カジノ施設はカジュアルな社交の場。外交の場として、国が管理するカジノリゾートも存在する
9回目 (11/21)	実技授業 ★牧尾 理央先生
10回目 (11/28)	実技授業 ★牧尾 理央先生
11回目 (12/5)	日本編／日本のIRはMICE型？ エンタメ型？ それとも・・・？
12回目 (12/12)	MICE編／MICEを呼び込むには何が必要か？ もし福岡市内に国際的なMICEを誘致できた際、課題となることは何か？
13回目 (12/19)	宿泊業界編／データから見る、日本と海外宿泊業の風潮と将来展望
14回目 (1/16)	★評価週 試験出題
15回目 (1/23)	まとめ、振り返り
準備学習 時間外学習	YouTubeやSNS等で、「ラスベガス」「マカオ」「カジノ」などのキーワードで検索すると、さまざまなIRを舞台にした作品が出てきます。 授業の予習や復習として、自身が気になったキーワードで、いろいろ検索してみてください。
評価方法	筆記試験100% 参考に提出レポート等 評価。
受講生への メッセージ	早ければ2030年に、日本版IRの第1号、大阪IRが開業します。IR施設の運営は、MGM(米国)とオリックス(日本)の共同事業です。 現在の日本のIR法では、大阪を含めて3つのIR施設の運営を認めています。 カジノ施設はクルーズ船内にもあることから、「カジノ＝悪」ではなく、「カジノ＝ビジネス」の1つと捉えて授業をします。
【使用教科書・教材・参考書】	
【使用教科書】・「YouTube」IRを題材にした映画、アニメ、MV(ミュージックビデオ)のショートムービー等を使って、IRを学びます。 例) 劇場版『名探偵コナン 紺青の拳(フィスト)』、E-girls『Love ☆ Queen』など	
【参考書】・書籍「ホテルビジネス」(発行:クロスメディア・パブリッシング/著:林田研二)第8章「カジノは日本のホテルの付加価値となるのか」に寄稿(長谷川)	
※授業中、個人のPCやタブレットを使っていただいてもOKです	

科目名 (英)	ワイン学Ⅱ / ワイン解説Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	田辺 大気
	Study of WineⅡ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ホテルグローバルマネジメント				2	曜日・時限	
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 前期で学んだワインに関する基礎知識をさらに深く学び、実践形式での授業を行い即戦力となれることを目指す。</p> <p>※実務経験：2009年株式会社ホテルオークラ福岡入社。宴会場3年、バーに11年勤務し飲食サービスに従事。ソムリエ資格、バーテンダー資格、レストランサービス技能資格などを取得。在籍中、カクテルコンテストに出場、ホテル内のワイン教室カクテル教室など講師を担当。メンバーにてアシスタントマネージャー。店舗管理・後進の育成に努める。2023年3月退職。同年4月に福岡市内にてバーを開業。現在に至る。 事務局を務める日本ホテルバーメンス協会九州支部より派遣され今回講師を務める。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>ワインに関する歴史、各国のワインについて学ぶ。 前期に学んだ範囲をより詳しく掘り下げる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	ワイン醸造概論 世界のワイン生産量・消費量
2回目	ワイン生産国① フランス ボルドー地方
3回目	ワイン生産国② フランス ブルゴーニュ地方
4回目	ワイン生産国3 フランス シャンパーニュ地方・ロワール地方
5回目	ワイン生産国④ フランス 山岳地帯産地(アルザス・ジュラ・サヴォワ)
6回目	ワイン生産国⑤ フランス 地中海沿岸の産地(プロヴァンス・コルス・ラングドググ＝ルーション) シュド＝ウェスト地方
7回目	ワイン生産国 イタリア
8回目	ワイン生産国 スペイン ポルトガル
9回目	ワイン生産国 ドイツ オーストリア スイス ハンガリー
10回目	ワイン生産国 アメリカ カナダ
11回目	ワイン生産国 オーストラリア ニューージーランド
12回目	ワイン生産国 日本
13回目	復習・ディスカッション・小テスト
14回目	試験
15回目	試験の復習
準備学習 時間外学習	
評価方法	筆記試験 100%
受講生への メッセージ	まずはワインに親しみましょう。 ワイン以外のことで、レストラン・バー・ホテルに関することは何でも質問してください。
【使用教科書・教材・参考書】	
講師作成資料(参考文献:日本ソムリエ協会教本 HBAオフィシャルバーテンダーズブック)	

科目名 (英)	レベニューマネジメントⅡ Revenue management Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	高橋 良一
学科・コース	ホテルグローバルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>本校において、世界市場の中でホテルマーケットがどのように変化変貌するのか、未来を予測しながら、収益を上げる為のレベニューマネジメント手法の基礎からホテルマネジメントの重要性を学び、未来に通じる経営数値管理知識や分析能力を持てる指導の為に数値分析問題などを中心に指導実施する。</p> <p>※実務経験:ホテル業界に40年以上在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、2014年にホテル旅館運営支援事業の㈱HAMAソリューションズ設立し、ホテル旅館の運営コンサル実施し、現在11期目に至る。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>レベニューマネジメントは航空業界から始まり、今やあらゆる業種において活用され、ダイナミックプライシングやイールドマネジメント等と名を変えて進化し続けている。特にAIによってホテル販売価格など決定されるが、その背景を認識し、ホテル客室料金設定の仕組みを知る事。また、合わせて日常的にホテル内で使用される数値計算を解答できるように指導する。多くのホテルではオペレーティングに関しては教務深く意欲も沸くが、ホテルを企業経営として深く認識し、利益の最大化を図る為のマネジメント意識を上げる事。</p>							

授業計画・内容	
第1回	レベニューマネジメントとは何か その原理原則を知り、RM(レベニューマネジメント)の目的が理解できる RM1からのまとめ復習
第2回	収益管理の商品特性と市場が理解でき、RMの重要性を知る事ができる
第3回	戦略的価格設定 マーケティング分析4Pにおける価格の重要性を知り、日常的に見る商品価格の背景を考えることができる
第4回	価格設定にあたり、価値の果たす役割を考える。品質と価格、サービスと価格の関係性を考えることができる
第5回	レベニューマネジメントの10原則を知ること、次週に続くレベニューマネージャーの役割を知ることができる
第6回	レベニューマネージャーの役割 と レベニューマネジメントの工程を認識することができる
第7回	需要予測の重要性 近未来を予測することが企業にとっていかに重要かを理解することができる
第8回	在庫と価格管理 具体的なRMの実態はAIが処理するが、その仕組み概要を理解することができる
第9回	流通経路管理 客室販売の流通経路別の管理と自社サイトの適切な管理法を理解することができる
第10回	宿泊産業のレベニューマネジメント実績評価 RevPARが上昇しても利益が減少した事例の訳を考える事でコストを理解することができる
第11回	飲食業界のレベニューマネジメント 宿泊業と比較しながら、飲食業でのRMを知ることができる
第12回	飲食業界のレベニューマネジメント実績評価
第13回	レベニューマネジメントの応用事例 宿泊・飲食 以外での事例を探り、未来ビジネスの中でRMの生かされ方を考えることができる
第14回	前期間中に実施した小テストの中から前期試験出題
第15回	基本同じ問題はしない。 課題レポートにて実施
準備学習 時間外学習	基本的にWebsite情報を元に、色んな情報の収集を行い、分析に入る事が出発点。つまり戦略は分析から・・・であることを指導する。つまり学校内だけが学習の場面ではなく、社会のニュースやホテル事業施設周辺マーケットや流通サービス業の価格設定等も常にリサーチしておく必要がある。情報収集能力と情報整理し学びは日常の中に沢山あり、それに気づく事が重要です。s.いる 又、PCやタブレットは単なる道具ですが、当然ながら道具を使いこなすPCスキルも必要です。 現実のレベニューマネジメントの料金設定の多くはAIが様々な過去のデータや近未来の予測データを分析し数値提案されます。私たちはRMの数値提案されるまでの仕組みを理解し、ホテルマーケティング上重要な運営手法であることを学びます。
評価方法	筆記試験 100% 参考に提出レポート等 評価
受講生への メッセージ	Revenue Management Yield Management Dynamic Pricing の言葉や手法が頻繁に登場する世の中です。その原理原則を学ぶことでホスピタリティ産業ではどのように活用されているかが、認識出来ます。ホテル業界は勿論「おもてなし」の精神と技術は必要ですが、一方では冷静な判断でマネジメントする能力が必要です。つまり、「Cool Head & Warm Heart」冷静な分析判断能力と、優しい暖かいおもてなしの心のバランスが必要です。産業情報にアンテナを張って沢山学びましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生使用テキスト無し</li> <li>・全てプリント配布 あるいはPPTやPDF表示による課題</li> </ul> <p>※授業中 PCやタブレット所有の場合はExcelを使用します</p>	

科目名 (英)	ホテルマネジメントⅢ Hotel managementⅢ	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	高橋 良一
学科・コース	ホテルグローバルマネジメント	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          本校において、世界市場の中でホテルマーケットがどの様に変化変貌するのか、未来を予測をしながら、収益を上げる為のマネジメント手法の基礎からコストコントロールの重要性を学び、未来に通じる経営数値管理知識や分析能力を持てる指導の為、数値分析問題などを中心に指導実施する。</p> <p>※実務経験:ホテル業界に40年以上在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、2014年にホテル旅館運営支援事業の㈱HAMAソリューションズ設立し、ホテル旅館の運営コンサル実施し、現在7期目に至る。</p>							
<p>【到達目標】          ホテルに限らず、ビジネスは利益と経費の相関関係である。ホテル飲食業界で売上に応じた適正な経費の範囲を、それはどういった根拠によって計算されるのかを共通認識として          持ち、ホテルレストラン業界マネジメントの基礎を習得する。営業分析数値を自ら操り、P/Lの解読分析が出来るレベルを到達とする          又、昨今の都市開発にはオフィス施設と商業施設とホテルの3点セットが中心になっている中で、都市開発とホテル開発との関連等を調査研究し、宿泊施設の必要性を認識理解すること</p>							

授業計画・内容	
第1回	ホテル業のSDGsの取り組みを探り、近未来の宿泊業の姿を予測する事が出来る
第2回	ホテル運営形態別の収支シュミレーションをする事で形態別の特徴が理解できる
第3回	ホテルを不動産と見るか、オペレーションと見るか、収益会社と見るかの見方によって学びの内容も変わることを知ることが出来る
第4回	ホテルが不動産として注目される背景を知ることが出来る。
第5回	マーケティングでの売れる仕組み GD 時代と共に移行行くマーケット 10年後のマーケットは何だ? を自ら感じ、考える事が出来るようになる
第6回	ホテルマーケティング手法とは 具体的手法例 分析手法の概要を知ること 戦略は全て分析から派生するものだと理解する事が出来る
第7回	マーケティングを構成する4P GD モデル施設シュミレーション 4Pの考え方を色々な場面で想像することが出来るようになる
第8回	市場と顧客の考え方 マーケットとは ホテルマーケティングに対するマーケットの考え方が理解できる様になる
第9回	マーケティングにおける販売促進活動とは何かを理解し、一段とホテル業界の販促に関心を高める様になる GD
第10回	ホテルの事業特性とマーケティング ホテル商品の特性は? を考える事で、他業界との相違点を理解することが出来る
第11回	多様化するホテル形態 異業種参入の宿泊事業 宿泊業の未来を考え、予測することで自らのポジションを認識する事が出来るようになる GD
第12回	AIDMAモデルとブランド戦略 マーケティング分析手法を理解することで多くの商品の背景には分析結果の商品開発がある事を知ることが出来る
第13回	Web&SNSマーケティングの重要性を知り、その手法を深掘りする機会を持つことができる
第14回	前期間中に実施した小テストの中から前期試験出題
第15回	基本同じ問題はしない。 課題レポートにて実施
準備学習 時間外学習	ホテル宿泊業の事業特性を深く認識し、売上は減っても利益を出す仕組みがないか?のテーマに挑む。ホテルレストラン業界をオペレーターとして志望する学生が多い中で、この業界を企業ビジネスとして他業界と比較する目線を持つことが重要と考える。学生には新聞等のメディアで色々な産業経済に目線を向ける習慣付けを指導したい。レストランマネジメント授業と連動して自分ホテルの事業計画と経営シュミレーション体験を実施する。
評価方法	筆記試験 100% 参考に提出レポート等 評価
受講生への メッセージ	入るを計って出るを制す 商いの基本を感じてもらいたい。ホテルマネジメントでもコストコントロールは マネジメント(経営)の主役の部分です。単に経費を削る事では無く、無駄を省きあるべき姿を追求する という点では日常生活にも応用できる学習です。ホテル旅館業界の人手不足が取りざたされる昨今ですが、切実に不足するのはマネジメント人材です。ホテル業は元より観光産業全般に関心を寄せ、観光立国ニッポンの為に沢山学びましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生使用テキスト無し</li> <li>・全てプリント配布 あるいはPPTやPDF表示による課題</li> </ul> ※授業中 PCやタブレット所有の場合はExcelを使用します	

科目名 (英)	ホスピタリティマーケティング marketing of hospitality	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	常井 大輝
学科・コース	ホテルグローバルマネジメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>Webマーケティングとは何かを知る。そして実際に行ってみる。SNS(Instagram)の投稿、リール、ストーリーをはじめ、それらのアクセス分析などを中心に行い、SNS活用したPRを実際に体験する。アカウントはアクセス分析のために講師常井の会社(Hospitality Bridge)のInstagramビジネスアカウント(もしくは自分のアカウントでも可)、投稿内容は授業の様子や、生徒の活動の様子、地元を紹介したいお店、福岡・九州のおすすめスポットなど自由に考えてもらい、社会的にどんな投稿が反応がよいかわかってもらう。デザインアプリを活用しながら、制作物を作っていく。SNS PRだけでなく、宿泊施設の販売サイトの設定やどのようにホテルが販売されているかを実際の管理画面を参考にホテルのセールスマーケティングの世界に触れてもらう。人の購買プロセスなども理解し、適宜戦略を考えていく。</p> <p>※実務経験：米国セントラルフロリダ大学ホスピタリティマネジメント学部を卒業し、日本へ帰国後東京の不動産・ホテル運営会社へ入社。外資系シティホテルへ出向し約2年半勤務。OTAのセールス、マーケティングを担当。同時に兼務として新規大型ラグジュアリーホテルのレベニューマネージャーを担当し、開業準備に携わる。2023年に独立し、株式会社Hospitality Bridgeを創業。観光業をメインとしたコンサルティング会社として、集客向上、経営コンサルティング、オペレーションコンサルティング、DMOなどの自治体向けセミナーなどを行う。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>Webマーケティングの世界を理解し、観光、ホスピタリティ業界はサービスの世界だけではないことを知ってもらおう。Webマーケティングの基本手順を学びながら実践してみる。デザインアプリなどを使って自由に投稿、リール、ストーリーを作成してみよう。アクセス解析をしてみる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介 クラスの流れの説明 Webマーケティングとは何かを理解する。Webマーケティングの手順を知る。目標設定、ペルソナ設定、カスタマージャーニー、施策選定、KPI設定、集計、アクセス解析
2回目	目標設定をしてみる。
3回目	ペルソナとは？ターゲットを決める。企業を選びその企業のターゲットを考察しレポートを作成する。
4回目	カスタマージャーニーとは？導線の把握と設置。購買プロセスとは何かを知る。購買プロセスの一つを選び、実際のビジネスと照合してレポートを作成する。
5回目	施策策定を行う。Webメディアを知る。それぞれの特徴、長所と短所を理解する。第3回で選んだ企業はどのようなWebメディアを使っているか調べレポートを作成する。
6回目	施策策定の手段を把握する。Web広告を探す。広告の目的や企業の意図を考える。第3回で選んだ企業はどのようなweb広告を使っているかレポートする。
7回目	施策：デザインアプリcanvaと動画作成のcapcutの紹介。Instagram投稿をデザインして投稿する準備。
8回目	施策：Instagram投稿を作成デザインする。投稿予約をする。
9回目	施策：宿泊施設の裏側。セールスとマーケティングの仕事を知る。宿泊施設の販路拡大。OTAとは。OTAの特徴について比較しペルソナ、ターゲット、カスタマージャーニー、施策などを考える。
10回目	施策：ストーリーやリールを作成してみる。ストーリー予約をしてみる。Instagramアクセス解析1
11回目	施策：Ghat GPTを使ってみる。AIを使って文章構成。SEO対策にも役立つ。
12回目	集計：定量分析と定性分析を知る
13回目	アクセス解析：Instagramのプロアカウントに投稿した前と後の変化があるか調べてみる。
14回目	最終課題への準備
15回目	最終課題：自分自身もしくは自分がやってみたい仕事、興味があることを考えてwebマーケティングの企画書を作りプレゼンテーションしてみよう。
準備学習 時間外学習	第15回の最終課題のプレゼンテーションに向けて期間中、自分ならどのように進めるか考え続けてください。学んだことをその後に企画書に反映させてみましょう。
評価方法	授業内容に沿った企画書が作成できているか。論理的な企画書になっているか。(40%) レポートはまとまっていて、考察されているか、遅れていないか。(40%) 期末テスト(20%)
受講生への メッセージ	Webマーケティングはとても広い分野です。実際の仕事に触れたり考えたりすることでその存在を身近に感じてください。
【使用教科書・教材・参考書】	